

ナイスレイシート施工方法

ナイスレイシート施工開始から、仕上げ床材張り付け完了までの間に、降雨などによって水濡れのないようにしてください。(万が一、水濡れした場合には、十分に乾燥させてください。)

1. 副資材の選定

- 専用副資材を必ず使用してください。
(専用副資材以外の副資材を使用された場合の施工トラブルは、原因説明ができませんのでご相談には応じられません。)

タキストロン タフスリップタイプ

品種	工 法	用 途	下 地	接着剤	仕上げ材の継目処理材	端部処理材
ナイスレイシート	一般工法	屋内廊下などの水を使用しない場所	吸水性下地・非吸水性下地	タキボンド#607	床溶接棒、エポシール、タキシール#600、タキシールHS	—
	耐水工法	開放廊下・バルコニー・ベランダなどの直接雨がかりのない場所 大量に水を使用しない場所	非吸水性下地 (全面塗膜防水下地など)	タキボンド#607	床溶接棒、エポシール、タキシール#600、タキシールHS	エポシール タキシール#600 タキシールHS
			吸水性下地 (モルタル下地など)	タキボンド#607	床溶接棒、エポシール、タキシール#600、タキシールHS ⁽⁷⁾	エポシール タキシール#600 タキシールHS ⁽⁷⁾
	特殊耐水工法	屋根のない開放廊下・屋上・ルーフバルコニーなどの完全屋外	非吸水性下地 (全面塗膜防水下地など)	タキボンド#607 タキボンド#601	エポシール、タキシール#600、タキシールHS	エポシール タキシール#600 タキシールHS
吸水性下地 (モルタル下地など)			タキボンド#601	エポシール タキシールHS ⁽⁷⁾	エポシール タキシールHS ⁽⁷⁾	
ブルサイド工法	ブルサイドなど 特に大量に水を使用する場所	吸水性下地・非吸水性下地	タキボンド#601	床溶接棒、エポシール	エポシール	
ナイスレイシート45	一般工法	屋内廊下などの水を使用しない場所	吸水性下地・非吸水性下地	タキボンド#607	タキシール#600 タキシールHS	—
	耐水工法	開放廊下・バルコニー・ベランダなどの直接雨がかりのない場所	非吸水性下地 (全面塗膜防水下地など)	タキボンド#607	タキシール#600 タキシールHS	タキシール#600 タキシールHS
			吸水性下地 (モルタル下地など)	タキボンド#607	タキシール#600 タキシールHS ⁽⁷⁾	タキシール#600 タキシールHS ⁽⁷⁾
	特殊耐水工法	屋根のない開放廊下・屋上・ルーフバルコニーなどの完全屋外	非吸水性下地 (全面塗膜防水下地など)	タキボンド#607 タキボンド#601	タキシール#600 タキシールHS	タキシール#600 タキシールHS
吸水性下地 (モルタル下地など)			タキボンド#601	タキシールHS ⁽⁷⁾	タキシールHS ⁽⁷⁾	

- フ)モルタル下地などの吸水性下地にタキシールHSを使用する場合は、必ずHSプライマーで前処理を行ってください。
注1) ウレタン系塗膜防水材下地の場合は、トップコートの種類によって副資材の選定が異なりますので、営業担当者への確認をしてください。
注2) エポシール・タキシールを継目処理材として使用する場合は、十分な養生を行ってください。

タキステップ(3Wのみ)

品種	工 法	用 途	下 地	接着剤	踊り場用シートとの継目処理材	端部処理材及び、タキステップ同士の継目処理材	段鼻隙間充填用接着剤	プライマー
ナイスレイシート	一般工法	屋内階段	吸水性下地・非吸水性下地	タキボンド#607	床溶接棒、エポシール、タキシール#600、タキシールHS	タキシール#600 タキシールHS ⁽⁷⁾	タキボンド#650 (付属品)	タキボンド#625
	耐水工法	雨がかりが少ない階段	非吸水性下地 (全面塗膜防水下地など)	タキボンド#607	床溶接棒、エポシール、タキシール#600	タキシール#600	タキボンド#650 (付属品)	タキボンド#625
			吸水性下地 (モルタル下地など)	タキボンド#607	床溶接棒、エポシール、タキシール#600	タキシール#600	タキボンド#650 (付属品)	タキボンド#625
	特殊耐水工法	完全屋外など大量に雨がかりがある階段	非吸水性下地 (全面塗膜防水下地など)	タキボンド#607 タキボンド#601	エポシール、タキシールHS	(踏み面周囲)エポシール (段鼻部)タキシール#600 タキシールHS	タキボンド#650 (付属品)	タキボンド#625
吸水性下地 (モルタル下地など)			タキボンド#601	エポシール、タキシールHS ⁽⁷⁾	(踏み面周囲)エポシール (段鼻部)タキシール#600 タキシールHS ⁽⁷⁾	タキボンド#650 (付属品)	タキボンド#625	

- フ)モルタル下地などの吸水性下地にタキシールHSを使用する場合は、必ずHSプライマーで前処理を行ってください。
注1) ウレタン系塗膜防水材下地の場合は、トップコートの種類によって副資材の選定が異なりますので、営業担当者への確認をしてください。
注2) エポシール・タキシールを継目処理材として使用する場合は、十分な養生を行ってください。
注3) 平鋼板製階段及び蹴込み部分用シートを施工しないモルタル下地の場合は、プライマー タキボンド#625 (別売)を購入してください。
注4) 3K、3Xについては営業担当者にお問い合わせください。
注5) タキステップ5Wへのご使用は避けてください。
注6) 蹴込み部にはナイスレイシートを使用しないでください。

ベルスシート

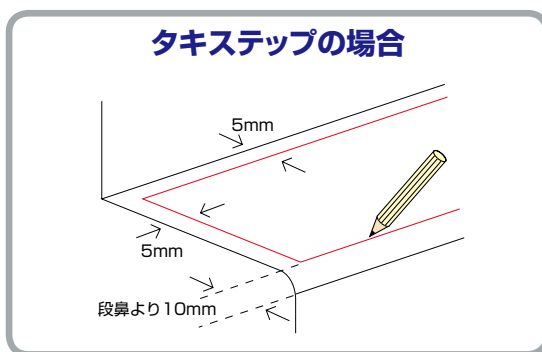
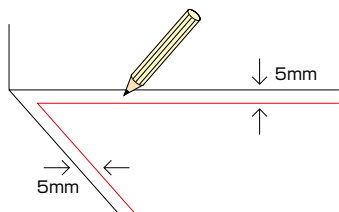
品種	工 法	用 途	接着剤	仕上げ材の継目処理材	端部処理材
ナイスレイシート	一般工法	湿気の恐れのない吸水性のある下地 (モルタル下地など)	タキボンド#608	ベルスシート床溶接棒	—
	耐水工法	接地階・洗面所などの湿気の恐れのある下地 非吸水性の下地(重ね貼りなど)	タキボンド#608	ベルスシート床溶接棒	タキシール#600CLR

2. 下地の清掃

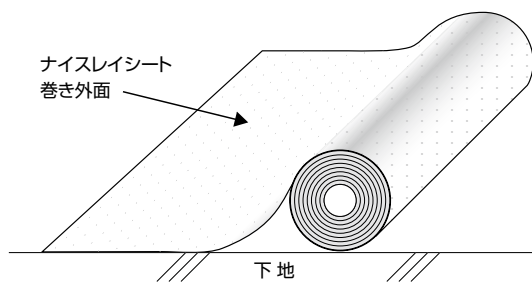
- 砂・塵埃などを除去してください。
- 下地に割れ・欠け・極度の湾曲がある場合は施工できません。補修を行ってください。

3. けがき・荒切り

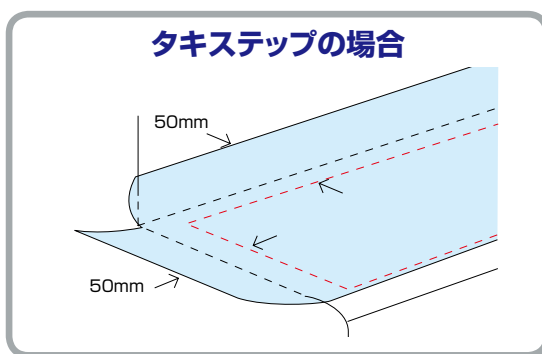
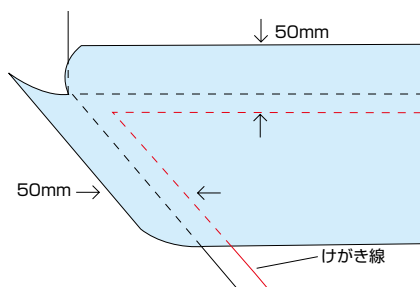
- 仕上がり寸法でけがき線を入れてください。
端部処理材と下地を直接接着させるため、端部は5mm程度の間隙を空けてください。



- ナイスレシートの巻き外面が上になるように仮敷きしてください。
ナイスレシート45はエンボス加工を施している面(裏面)を下にしてください。

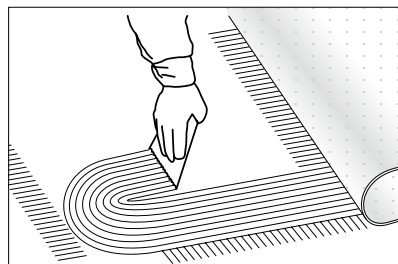


- けがき線(仕上がり寸法)より50mm程度長めにナイスレシートをカットしてください。
継目部は突き付け仕上げとし、隙間がないようにしてください。



4. 接着剤塗布

- 仮敷きしたナイスレシートの半分(長手方向)をずれないように折り返し、塗布ムラが生じないように、クシ目ゴテで接着剤を下地に均一に塗布してください。
- タキステップの場合は仮敷きしたナイスレシートを取り除き、接着剤を塗布してください。
- エポキシ系接着剤の混合は、下地上で行わないで別容器で十分に攪拌してください。(下地上で混合すると混合不良となり後日のフクレ・接着不良の原因となります。)
- クシ目ゴテのクシ山が1/3以上摩耗した場合は、三角ヤスリで目立てを行ってください。



5. オープンタイム

- 接着剤を塗布した後オープンタイムを取り、張り付け可能時間内にナイスレシートを張り付けてください。
- オープンタイムが短いとガス膨れが生じます。
- オープンタイムを取り過ぎて接着剤が乾き過ぎますと、接着力が低下します。(オープンタイムは気温や通風状態により異なります。)

〈ナイスレシート〉オープンタイムの目安(20℃)

接着剤	オープンタイム	張り付け可能時間
タキボンド#607	0~5分	5~10分
タキボンド#601	5~10分	10~20分

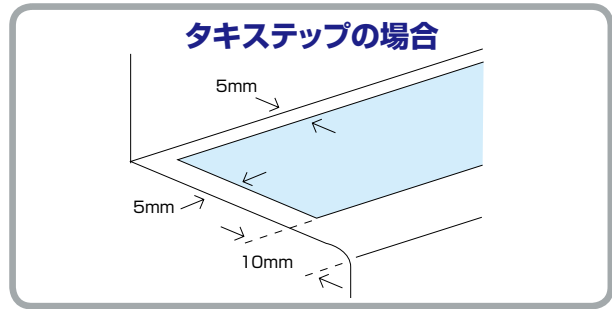
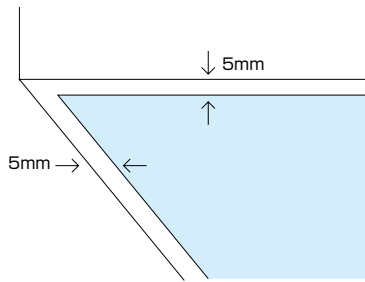
※ナイスレシートのオープンタイムは仕上げ床材のオープンタイムとは異なりますのでご注意ください。

6. 張り付け・圧着

- ナイスレイシートに空気を巻き込まないように、またシワが生じないように、中央部から空気を押し出しながら丁寧に張り付けてください。
- シート張り付け後、直ちに空気抜きを十分に行い、床ローラーで圧着してください。
- ナイスレイシート上は張り込み直後から歩行可能ですが、構造上、接着剤が多少染み出すことがありますので、靴底などに付着する場合があります。ご注意ください。

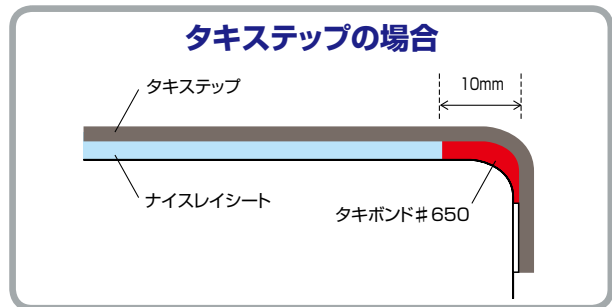
7. 壁際の裁断

- パーキリや直定規などを使用し、仕上がり寸法でナイスレイシートを裁断してください。
- 下地に防水層がある場合、カッターナイフ等で傷を付けないように注意してください。
- 裁断後、端部と継目をハンドローラーで十分に圧着してください。



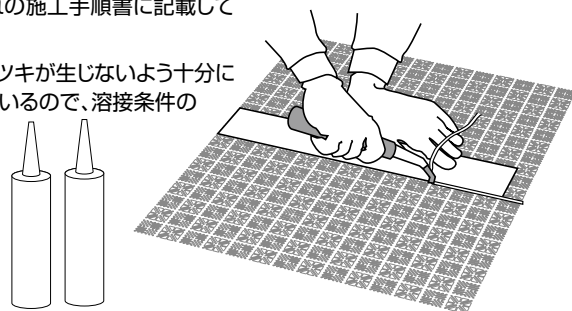
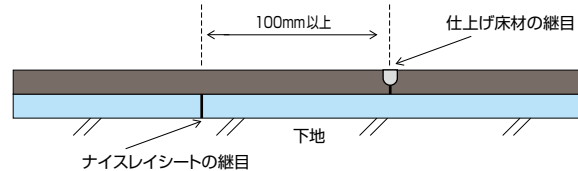
8. 仕上げ床材の張り付け

- 仕上げ床材のそれぞれの施工手順書に従って張り付けを行ってください。



ご 注 意

- 仕上げ床材の張り付けは、ナイスレイシート張り付けの翌日以降に行ってください。
(同日に行くと、シート裏面の有機溶剤量が多くなり、膨れやすくなります。)
- 仕上げ床材の継目部は、ナイスレイシートの継目部と100mm以上ずらしてください。
- ナイスレイシートの弾力性で接着剤の塗布量が少なくなりますので、クシ目ゴテの山を三角ヤスリで削って0.5~1.0mm程度高くしてください。
- 接着剤のオープンタイムと張り付け可能時間は、それぞれの施工手順書に記載してある時間よりも短めに取ってください。
- 継目部を溶接する場合には、溝深さや溶接温度などにバラツキが生じないように十分にご注意ください。(ナイスレイシートはクッション性を有しているため、溶接条件のバラツキは仕上げ床材の継目破断の原因となります。)
- エポシール・タキシール#600は標準使用量の約1.5~2倍必要になります。
- タキシールHSは標準使用量通りです。
- タキボンド#650は標準使用量の約1.5倍必要になります。



	標準使用量	ナイスレイシート+仕上げ床材の場合の使用量	
エポシール	60m/2kgセット	30~40m/2kgセット	標準使用量の約1.5~2倍
タキシール#600	20m/本	10~13m/本	
タキシールHS	20m/本	標準使用量通り	
タキボンド#650	9m/本 (タキステップ5W→7.3段/本) (タキステップ3W→7.5段/本)	6m/本 (タキステップ5W→4.9段/本) (タキステップ3W→5段/本)	標準使用量の約1.5倍

- 重量物の運搬などは、接着剤硬化後(1~2日)、ベニヤ板などを敷いて車輪の跡形や傷を付けないように行ってください。